

議 事 日 程 第 1 3 号

令 和 6 年 5 月 2 8 日 ( 火 ) 午 前 1 0 時 開 議

第 1 一 般 質 問

## 一 般 質 問 ( 5 月 28 日 )

## 1 大桑 正貴 議員 (自由民主党)

公判への職員の傍聴の呼びかけ、人口減少社会における持続可能な市政運営、女性の総合的な健康づくり支援、敬老特別乗車証制度、市営バスの人材確保、地域交通の充実に向けた取組、持続可能な都市づくり、公共事業の平準化、公園やみどりを生かしたまちづくり、脱炭素及びGREEN×EXPO 2027の推進、アジア諸都市の都市課題解決、第9回アフリカ開発会議、グローバルネットワークの推進、食品ロスの削減と食品廃棄物の有効活用

## 2 木内 秀一 議員 (公明党)

こどもの権利を守る取組、不登校児童生徒支援、若者が直面する生きづらさとその解消に向けた取組、単身高齢者等の包括的支援、がん検診の推進、横浜市歯科保健医療センター、安全で持続可能な水道、能登半島地震を踏まえた防災・減災対策の強化、救急体制の強化、デジタル技術の活用による業務効率化、交通量調査のICT化、地域の交通手段の確保、相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)の連続立体交差事業とまちづくりの推進、脱炭素社会の実現に向けた取組、持続可能な都市経営に向けた戦略、多文化共生の推進による国際平和の実現

## 3 越久田 記子 議員 (立憲民主党)

動物に関わる施策、横浜の緑を将来につなぐ取組、音楽を通じた横浜のまちのにぎわいづくり、研究開発都市・横浜、山下ふ頭の再開発、地方自治制度、誰もが安心して暮らせる地域づくり

## 4 柏原 すぐる 議員 (日本維新の会・無所属の会)

50年後の横浜市将来人口推計に基づく対応、「地域のことは地域で決める」横浜における地方分権・行政区の在り方、将来世代への徹底投資、教育行政の在り方、横浜の経済成長、横浜の活力を維持するための外国人材の受入れ、持続可能な観光戦略、GREEN×EXPO 2027の推進、財源確保の一層の推進、政治家が自ら模範となる行動を示すこと

## 5 宇佐美 さやか 議員 (日本共産党)

地方自治法改正、国際園芸博覧会、関内駅前地区の再開発、地域における学校の在り方

## 6 青木 亮祐 議員 (自由民主党)

職員人事異動、職場環境の改善と業務の効率化、人口減少社会におけるまちづくり、宿泊を伴う観光、建設業の週休2日、精神障害者のアウトリーチ支援、待機児童対策

## 7 酒井 誠 議員（自由民主党）

能登半島地震を踏まえた消防体制の強化、大規模災害時対応、特別市、新たな政策の打ち出しと財源確保、商店街の活性化、自治会町内会の担い手不足の解消、新綱島駅及び綱島駅東口周辺のまちづくり、横浜トリエンナーレ、トップスポーツチームとの連携

## 8 長谷川 えつこ 議員（立憲民主党）

父子家庭への支援、発達障害児の健やかな成長に向けての支援、国語教育とA I、市営バスの大幅減便の改善策、歴史を生かした横浜らしいまちの魅力の向上、ガーデンネックレス横浜

## 9 深作 祐衣 議員（民主フォーラム）＜12分＞

カスタマーハラスメント、性教育や思春期の変化に応じた支援、市立保育所における午睡用コットの導入、子育てと介護の両立、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、養育支援ヘルパー事業

## 10 大野 トモイ 議員（大野トモイ）＜4分＞

本市の子ども施策、本市教育委員会事務局と学校の改革

< >は質問申告時間